

料金精算機について

料金精算機とは、お客さまご自身で操作いただき、通行料金をお支払いいただく機械です。

現在、北海道の高速道路をご利用されるお客さまの8割以上がETC車です。これらのお客さまからの通行料金の収受は、機械化されておりETC無線通信でなされています。

その一方で、2割弱の一般車(無線通信でETC車線を通行する車以外)のお客さまからは、係員が直接料金をお預かりしております。

しかしながら、昨今の少子高齢化の進行により、一部の都市部を除き全道的に料金所係員の人材確保が困難になりつつあります。この対応策として、料金精算機を導入し係員による収受業務を機械化することで、一般車のお客さまの高速道路利用の確保を図ります。

現状
係員が料金をお預かり

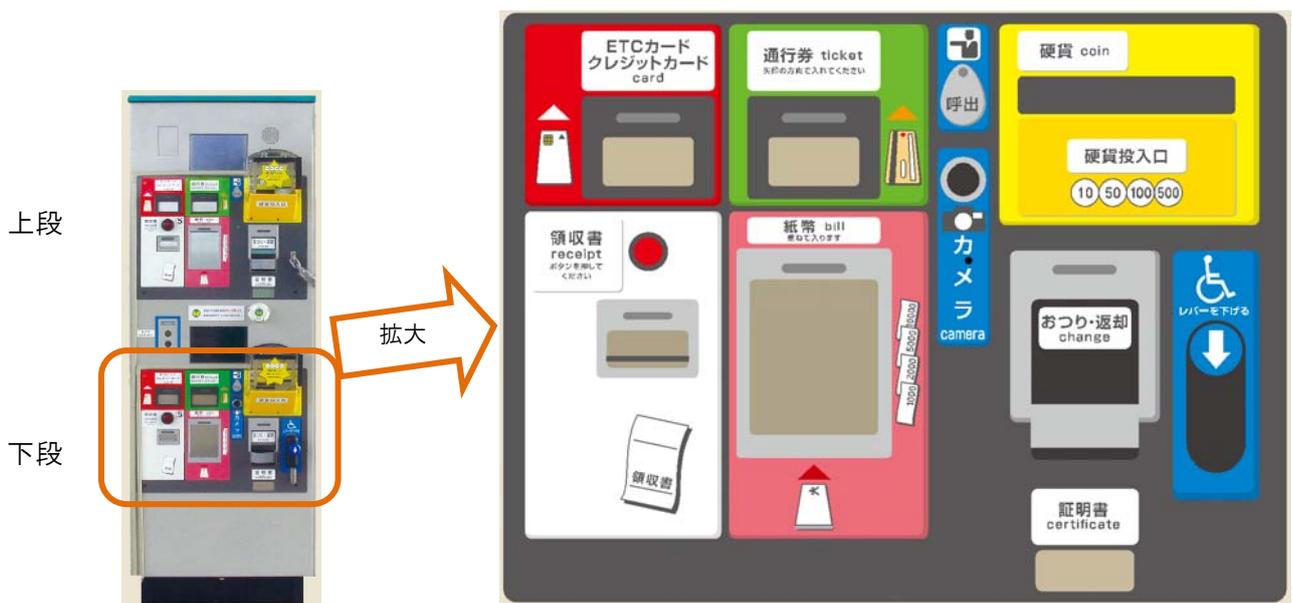


変更後
お客さまが精算機に入金



機械化

音声ガイダンスに沿って、通行券の挿入や硬貨・紙幣を入金いただくことで、お支払いが完了します。



操作パネルは、運転席の窓の高さに合わせて、上段又は下段をお選びいただけます。